

2021年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月30日

上場会社名 J-ピープル
 コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 真人
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子
 四半期報告書提出予定日 2020年7月1日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3862-2768

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績(2020年1月21日～2020年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	814	5.7	12	△67.4	5	△85.7	4	△82.1
2020年1月期第1四半期	770	△18.1	36	△66.3	36	△66.1	23	△67.5

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 △6百万円 (△125.5%) 2020年1月期第1四半期 24百万円 (△65.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	0.93	—
2020年1月期第1四半期	5.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	2,294	1,874	81.7
2020年1月期	2,441	2,046	83.8

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 1,874百万円 2020年1月期 2,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2021年1月期	—				

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年1月21日～2021年1月20日)

2021年1月期第2四半期累計期間の連結業績予想(2020年1月21日～2020年7月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,782	6.9	51	△33.5	45	△39.4	28	△40.3	6.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の通期連結業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。本来通期業績予想を掲げるべきですが、このような玩具市場の特性に鑑み、直近で見通せる次期四半期の予想を掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年1月期1Q	4,437,500 株	2020年1月期	4,437,500 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年1月期1Q	63,279 株	2020年1月期	63,279 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年1月期1Q	4,374,221 株	2020年1月期1Q	4,374,247 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
【第1四半期連結累計期間】	5
四半期連結包括利益計算書	
【第1四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	7
カテゴリー別販売の状況	7
①第1四半期累計期間売上高	7
②新発売商品及び主なりニューアル商品	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外での製造および消費に多大な影響を及ぼしました。当社においても、製造面においては中国製造委託先の工場の一時閉鎖、また、商品検査業務の停止等が当期間の商品入荷に直接影響し仕入の大幅な遅延を引き起こしました。また、国内の販売面においては、4月7日の緊急事態宣言発令以降、全国的に大手量販店や百貨店等で店舗休業や営業自粛など社会経済活動の制限に伴う消費減少の影響を受けました。発売を予定していた新商品については、中国製造工場の稼働遅延による発売延期や、例年春先に集中している新商品主体の販促活動も実施困難となったことで、売上加算には至りませんでした。しかし、そのような厳しい状況の中、自粛生活中の幼児・児童の遊びとして屋内遊具や自転車類に一気に注目が集まり、当社商品の中にも「遊具乗り物カテゴリ」において欠品・入荷を繰り返しながら当四半期の売上の低迷を最小限に抑えた貢献商品も出てきています。

このような状況下、国内販売は、ネット購入を主体に健闘したものの新商品売上の加算には至らず、各カテゴリで前年同期間を下回る結果となりました。一方で、海外販売は製造完了済の商品を順調に出荷できたことで、米国向け商品を中心に順調な売上を確保でき、出荷調整となっていた前年同期間を大きく上回る事ができました。

結果、当四半期連結売上高は8億14百万円の前年同期間比5.7%増となりました。

売上増加の一方、利益につきましては国内販売が実店舗等流通への投入ができなかった3カ月間であったため、販売苦戦を強いられたことに加え、海外向けアイテムについて他社競合品対抗策として、一部の商品の販売価格設定を下げたことで、高原価率品が当期間の売上構成を大きく占めました。それにより、海外販売は前年同期間は出荷がほとんど無かったのに対し、当四半期は毎月まとまった出荷となりましたが、国内販売では前述のとおり流通への出荷も客注を中心とした小刻みな対応となったこと等、これらの要素が、原価率が低く収まった前年同期間との比較で売上総利益減となりました。

経費では、店頭での商品販売促進イベント等の実施ができなかった代わりに、SNS等のWEB広告を積極的に利用し、ネット購入者層の増加を目指しました。

以上の結果、当四半期の営業利益は原価高が主要因となり、12百万円の前年同期間比67.4%減となり、営業外費用において為替相場の変動に伴う為替差損計上により、経常利益は5百万円の前年同期間比85.7%減、親会社株主に帰属する四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益は4百万円の82.1%減となりました。

(カテゴリ別の概況)

・乳児・知育玩具

乳児・知育玩具カテゴリにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う店舗休業等の影響を受ける中、既存の「ピタゴラスシリーズ」は、自粛生活期間のお部屋遊び、いわゆる“巣ごもり需要”もあり、ネット販売で売上を伸ばしました。一方で、インバウンド需要の高い「純国産お米のおもちゃシリーズ」や、店頭選択の多い「ノンキャラ良品シリーズ」などは苦戦を強いられました。

・女兒玩具

当期3月度、STEAM教育を題材に新しいガールズ向けサイエンストイシリーズ「ハピエンス」が発売となり、プログラミング教育特集コーナーに取り扱いされるなど流通の関心を集めていますが、上記市況により新製品発売告知活動が制限されてしまったため、次四半期以降、再びTVCM放映など追加投資を行い認知拡大を目指します。

・遊具・乗り物

外出自粛の影響で遊具・乗り物カテゴリは非常に好調であり、定番の室内遊具「白いわんぱくジム」(19,800円)はインターネット店を中心に注文が加熱しました。自転車でも「ケッターサイクル」(各種・オープン価格)が客注が増えるなど同じく加熱しましたが、どちらも急激な需要増に供給が追いつかず、欠品による機会損失を招きました。

・海外販売

海外販売では、米国向け「Magna-Tiles」シリーズで安価な類似品が店頭を占め始めたことから、やむなく既存品の一部のセットについて販売価格を下げる対策をとりました。当四半期は期初から当シリーズのまとまったオーダーに沿って出荷も順調な運びとなり、大幅な売上増となりました。また、乳児・知育玩具類を中心とした中国向け販売についても、取扱い店舗の順調な拡がりにより、当四半期の売上につながりました。

注) 上記文中 () 内に記載の商品価格は、税別標準小売価格です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末から1億47百万円減少の22億94百万円となりました。資産の部では、主に配当金及び法人税等の支払による現金及び預金の減少等で、流動資産が前連結会計年度末から1億44百万円減少し20億5百万円となりました。

負債では、流動負債で主に次四半期決済の支払債務等の計上により、負債合計で前連結会計年度末から26百万円増加し、4億20百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上的一方、配当支払等により、前連結会計年度末より1億72百万円減少し18億74百万円となり、結果、自己資本比率は81.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(次期第2四半期連結累計期間業績予測)

新型コロナウイルスの感染拡大及び4月7日の緊急事態宣言の発令などにより、当社グループでは、営業体制の一部縮小や取引先量販店等の業務自粛等の影響を受けましたが、5月21日に緊急事態宣言が解除され、量販店等の営業も順次再開に向かいました。経済活動再開に伴い消費者の来店による消費回復も見られ、当社商品も回復を見せている商品群も出てきております。また、中国やベトナム製造拠点での供給体制も従来通りの体制に戻っております。しかし、国内での新商品を中心とした販売促進イベントや店頭見本の設置等の実施には未だにリスクを鑑みて延期・中止をせざるを得ず、それらの影響は残ると見ております。売上総利益については、海外販売の粗利率は第1四半期同様に第2四半期会計期間も低下する見通しですが、国内販売の各カテゴリー売上を伸ばすと共に、次第に昨年並みの粗利率を目指して参ります。従いまして、営業利益につきましては、第2四半期会計期間(5～7月度)では前年同期間並みとなる見通しですが、期初からの累積の第2四半期累計期間(2～7月度)では第1四半期における減益が影響し、前年同期間比で6割程の到達と見ております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,395,475	1,405,679
受取手形及び売掛金	336,478	247,939
商品	408,162	340,257
原材料	1,669	1,911
その他	7,434	9,589
貸倒引当金	△635	△468
流動資産合計	2,148,583	2,004,906
固定資産		
有形固定資産	68,507	69,228
無形固定資産		
その他	20,317	29,050
無形固定資産合計	20,317	29,050
投資その他の資産	203,356	190,946
固定資産合計	292,180	289,223
資産合計	2,440,762	2,294,130
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	186,579	243,466
未払法人税等	79,221	1,664
その他	128,777	175,256
流動負債合計	394,576	420,386
負債合計	394,576	420,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,615,452	1,453,306
自己株式	△34,267	△34,267
株主資本合計	1,982,690	1,820,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,801	51,306
為替換算調整勘定	695	1,893
その他の包括利益累計額合計	63,496	53,199
純資産合計	2,046,186	1,873,743
負債純資産合計	2,440,762	2,294,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月21日 至 2020年4月20日)
売上高	770,344	814,176
売上原価	445,412	526,018
売上総利益	324,931	288,159
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	38,173	56,920
販売促進費	31,925	24,251
運賃	37,920	34,903
役員報酬	18,705	14,205
給料及び手当	44,501	36,214
退職給付費用	3,093	3,553
支払手数料	26,157	20,817
研究開発費	40,565	44,198
その他	47,807	41,324
販売費及び一般管理費合計	288,846	276,384
営業利益	36,085	11,775
営業外収益		
受取利息	55	19
その他	32	17
営業外収益合計	87	35
営業外費用		
為替差損	593	6,716
その他	0	-
営業外費用合計	593	6,716
経常利益	35,579	5,094
税金等調整前四半期純利益	35,579	5,094
法人税、住民税及び事業税	5,268	135
法人税等調整額	7,507	884
法人税等合計	12,775	1,019
四半期純利益	22,804	4,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,804	4,075

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月21日 至 2020年4月20日)
四半期純利益	22,804	4,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,976	△11,494
為替換算調整勘定	△1,356	1,198
その他の包括利益合計	1,620	△10,296
四半期包括利益	24,425	△6,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,425	△6,222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大及び4月7日の緊急事態宣言の発令などにより、当社グループでは、営業体制の一部縮小や取引先量販店等の業務自粛等の影響を受けましたが、5月21日に緊急事態宣言が解除され、量販店等の営業も順次再開に向かいました。

しかし、経済活動再開はされつつも、集客のための販売促進イベント等の実施には未だにリスクを鑑みて延期・中止をせざるを得ず、感染拡大前の水準まで回復するには年内までの期間を要するものと想定し、繰延税金資産の回収可能性の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

①第1四半期累計期間連結売上高の前年同期間対比

(単位 千円)

カテゴリー名	2020年1月期 第1四半期 (自2019年1月21日 至2019年4月20日)	2021年1月期 第1四半期 (自2020年1月21日 至2020年4月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	312,515	250,611	80.2
女兒玩具	80,315	75,482	94.0
遊具・乗り物	152,355	125,089	82.1
その他	26,909	15,992	59.4
海外販売	198,249	347,002	175.0
合計	770,344	814,176	105.7

②新発売商品及び主なりニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税別)
乳児・知育玩具	「頭が良くなるビール缶」	¥680
	「集中しすぎてゴメンなさい」	¥680
女兒玩具	ハピエンスシリーズ「ぬりぬりコスモ」	¥2,980
	同 「マジカル・ピアノ」	¥2,980
	同 「アニメライト」	¥2,980
	同 「あっちこっち! ロジコ」	¥7,280